

# 〇〇もんずら

奥島教育長コラム No.13 2024. 4. 1

## 君たちは・・・

人類が宇宙開発に挑んでから60年後の今は、通信放送、人工衛星、宇宙探査、宇宙旅行も現実になっている時代です。

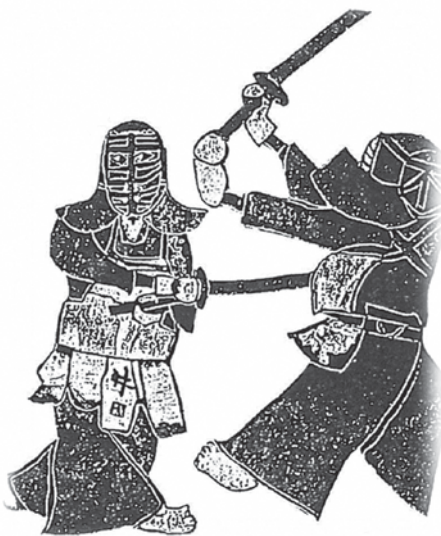
「スペースシャトルに乗っている私たちにとって、ふるさとと言えば地球しかありません。アメリカも日本もウクライナもインドも、それらの国がどこにあるのかは見えなくても、この地球がふるさとなのです。」

日本人宇宙飛行士土井隆雄さんの言葉です。

世界は今、気候変動、戦争、物価高騰、食糧危機等、大きな課題をかかえています。地球が蓄えてきたストックを取り崩しすぎ、地球の持続可能性を人類みんなで考えていかなければならなくなりました。世界の若者が、私たちのふるさと地球の未来を考える主体になろうとしています。その真ただ中にいるのが皆さんです。たくさん刺激を受け止め、語り、学び、つながりあい、未来の社会を創り上げる主体・主役へと大きく成長していただきたいと願っています。

【令和6年二十歳の集い：村長メッセージより】

## 残心



剣道では「トオーツ！」と打ち込んだ後すぐ振り返って相手の反撃に備えます。緊張を解かないままの構えなので難しいのですが、この動作を「残心」といいます。弓道では、的の前の立ち位置を決め、矢を射った後の立ち姿を「残心」といいます。矢の到達点を見極める心の構えです。柔道・空手などの武道や茶道や日本舞踊などにも「残心」はあります。心を残すとは？ 相手があって技術が向上する、相手から学ぶ、相手があることに感謝する心、あるいは自分の欲望（例えば的中したい等）と闘う心を表

しています。見えない心を美しい所作・ふるまいで表すという日本の伝統的な考え方です。挨拶やお辞儀、身構えなども相手に見える形で心を伝える大事な所作なのです。【参照：えるふVol.32 wikipedia他】

